

2026 年 9 月 8 日

ー染料植物を育て、暮らしを創り、全て地球に還すー

持続可能な色材：染料植物の保全と栽培、色材作りと利用技術の研究・実践の発表、資料の展示

主催：特定非営利活動法人 アースネットワーク、天然染料顔料会議

日程：11 月 5 日(木)～11 月 21 日(土)：研究と活動内容資料展示 10:00～18:00（土曜日は 17:00 まで）

11 月 7 日(土)10:30～12:00, 14:00～16:00, アースネットワーク天然染料サイエンスカフェ 藍茜紫

11 月 14 日(土)10:30～12:00, 13:30～16:30：天然染料顔料会議第 19 回大会（研究発表、実践報告、
資料展示解説）

会場：地球環境パートナーシッププラザ GEOC、展示スペース、セミナースペース

150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F

古代より世界各地に分布、自生する染料薬用植物を私たちは資源として生活や産業に利用してきました。2016 年、南米ペルー、約 6600 年前のインカ文明の遺跡から出土した綿織物からインジゴ色素が分析・検出されました。2025 年、黒海に近いジョージアの遺跡から藍葉を叩いたと思われるインジゴの痕跡がある器が発見されました。32,000～34,000 年前に利用されたもので、色材に使われたか薬用かは未だ判明していません。

インジゴは現在、世界で最も多く使われている染料・薬用植物で、主な含藍植物は 5 種類、それらから作る藍染料の形態は 5 種類以上です。染色液を作る方法は複数ありますが、原理は不溶性のインジゴを水溶性に変えて染色する還元法で、アルカリ性の染色液です。還元法は、木灰、小麦麩もしくは水飴と微生物の活性による発酵法、穀物や果実の糖分もしくは生薬、植物の根が持つ還元性を利用する方法など、古代から世界各地の気候、文化から生まれた藍染料と技法が今も利用されています。

日本の染料植物については、飛鳥時代～平安時代（500 年～700 年代）に書かれた文献に登場します。現存する遺品としては、正倉院東大寺大仏開眼供養会（752 年）で使われた藍染の紐「縹縷-はなだのる」があり、色名からも藍色だと解ります。8 世紀に建てられた正倉院の染織品は科学分析されており、タデアイ、ニホンアカネ、ムラサキ、キハダ他があります。「延喜式」五十巻は、平安時代に纏められた養老律令の施工細則で、巻第十四縫殿寮には紅花、黄檗、梔子、紫草、茜…など染料、染める色名、染める布の種類（織名）、薪、灰や酢など全材料と使用量が詳しく記載されています。

染料植物の需要が高まり、栽培や染色の技術と色が充実し、庶民も色を楽しむようになった江戸時代初期、1684～1688 年に先人達の技術を世に広めることを目的に纏められた「諸芸小鏡」は、染色工程が書かれています。その後、武士で文大夫の宮崎安貞が安芸広島から筑前（現福岡）に赴任、引退後、国を回り、農民と共に畑でニホンアカネの栽培を始め、収穫時期、収穫後の根の処理、染色方法を研究した茜染を纏めました。そして、貝原益軒が 1697 年に発行した「農業全書」十巻の巻之六に、「第六茜根」として掲載されています。これは今に通じる染色法です。

この天然染料による染色が充実した江戸時代の終わりごろ、ヨーロッパから化学染料が入ってきました。その後、日本の暮らしは、化学染料一色のような時代になり、川の汚染が広がりましたが、環境問題への意識が高まり、天然染料は使われ続け、今に至ります。私達、染料植物の栽培農家、研究者、染色工房、個人制作者、絨毯修復・修繕工房、オーガニック製品製造企業、美術館として、国内外で研究活動、情報

交換、制作、発表を行い、国内外にネットワークを広げています。

【展示スペース】

展示期間：2026年11月5日(木)～11月21日(土) 10:00～17:00

- (1)主な藍染料、ニホンアカネ、ムラサキの栽培～染料作りと保存、染色工程（画像と解説）のポスター
- (2)2026天然染料顔料会議第19回大会ポスター、開催概要、機関誌「天然の色」2004～2025年版の目次

【セミナースペース】

11月7日(土)アースネットワーク天然染料サイエンスカフェ：画像や映像、展示する染料等の解説、Q&A
染料植物の栽培、染料・顔料作り、天然染料とその染色方法「藍・日本茜・紫根他」について
参加費：4,000円/1人(資料、サンプル含む)

11月14日(土)天然染料顔料会議第19回大会、会場とオンラインによる研究発表と実践報告、資料展示
研究と実践の発表者、会場参加者、オンライン参加者を双方向に質問と回答を行うスタイルです。
参加費：4,000円/1人、要旨集（A4,カラー冊子印刷）を含む

*プログラム詳細、発表者名と表題が決まり次第、順次ウェブサイトにて発表、更新致します。

*参加登録：Google フォームを使用、フォーム入り口は9月15日より以下ウェブサイトに掲載します。

天然染料顔料会議 <https://ndpc.info> NPO 法人アースネットワーク <https://earthnetwork.or.jp>

【見学・研修、染色ワークショップ】

実習可能な工房について、それぞれのウェブサイトとFacebookにて、随時ご紹介致します。

参加希望の方は、日時と実習内容を選び、直接お申し込み頂きます。

—Cultivating dye plants, creating a lifestyle, and returning everything to the Earth—

Sustainable Colorants: Conservation and cultivation of dye plants; presentation of research and practical applications regarding colorant production and usage techniques; and exhibition of related materials.

